



⑤

令和2年度 神奈川県流域下水道事業会計

決算説明資料 ～グラフで見る決算～

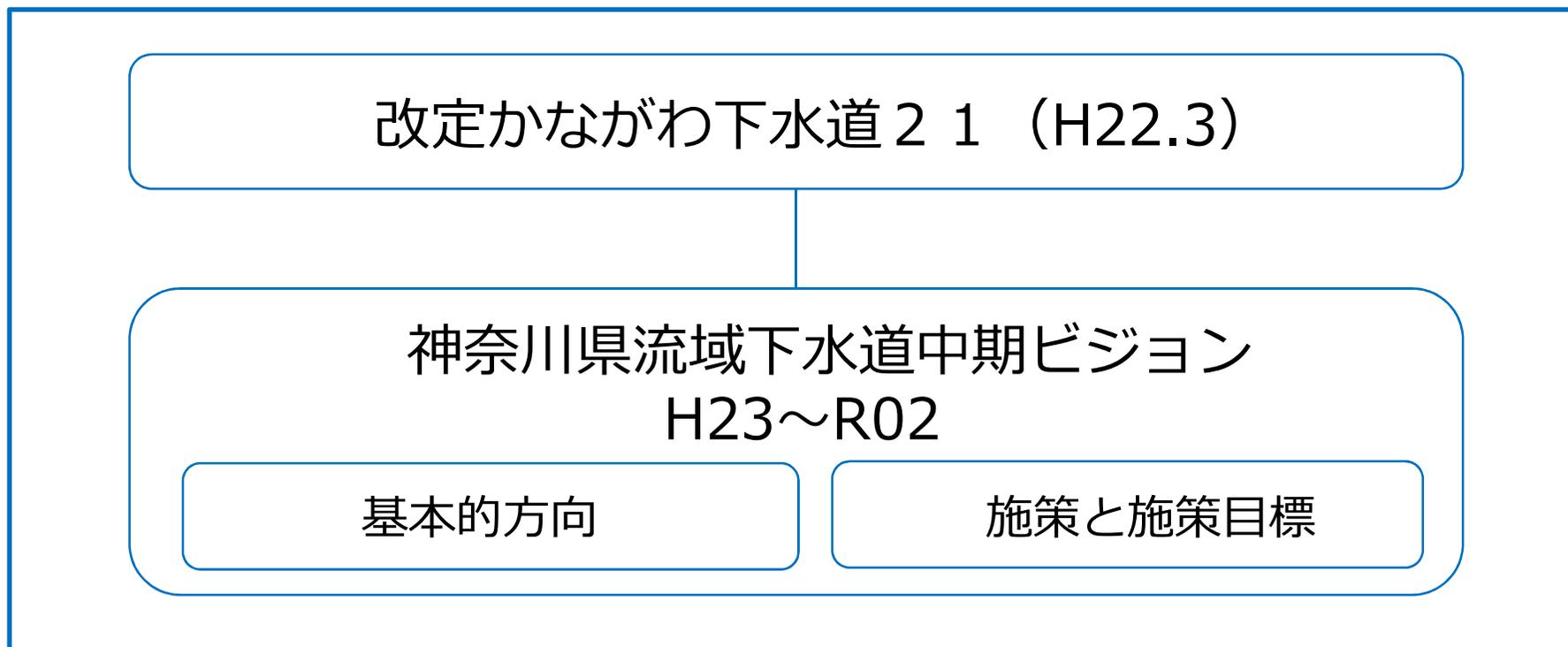
県土整備局

目次

1. 令和2年度における主な取組の内容 . . . 1
2. 決算の概要 10
3. グラフで見る決算書 13

1. 令和2年度における主な取組の内容

県内の下水道事業の指針となる「改定かながわ下水道21」と、10年間の基本的方向と具体的施策及び目標を示した「神奈川県流域下水道中期ビジョン」により、流域下水道事業に取り組みました。



(参考) 流域下水道事業の概要

流域下水道では、相模川・酒匂川流域内の各市町から発生する下水を広域的に幹線管きよで処理場を集め、効率的に処理しています。

酒匂川流域下水道

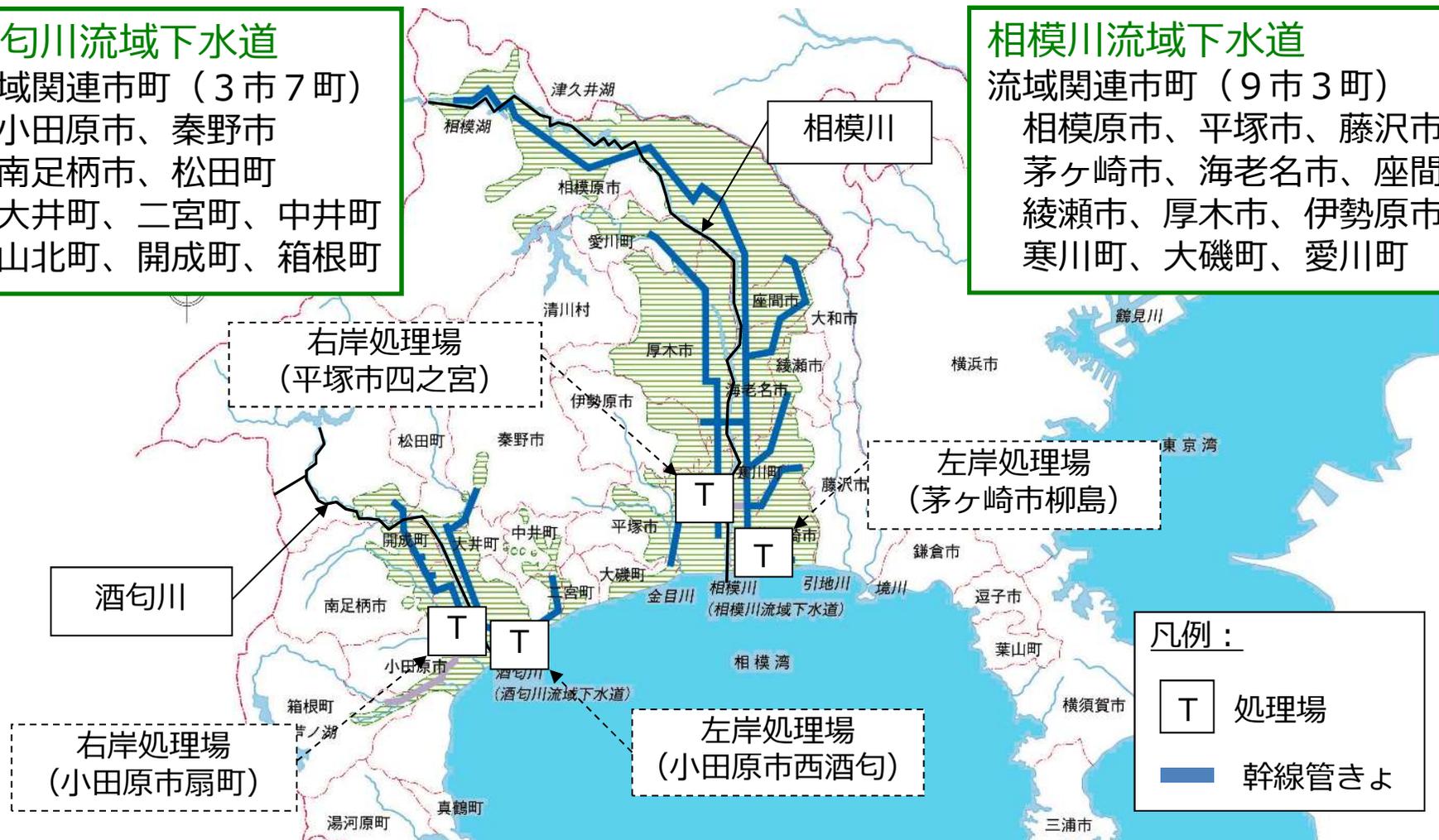
流域関連市町 (3市7町)

小田原市、秦野市
南足柄市、松田町
大井町、二宮町、中井町
山北町、開成町、箱根町

相模川流域下水道

流域関連市町 (9市3町)

相模原市、平塚市、藤沢市
茅ヶ崎市、海老名市、座間市
綾瀬市、厚木市、伊勢原市
寒川町、大磯町、愛川町



1. 令和2年度における主な取組の内容

建設改良事業

- 幹線管きよの整備、処理場の地震対策の推進及び計画的な改築更新などに取り組んだ。
- 令和2年度事業費 4,064 百万円

維持管理事業

- 処理場等の運転操作や保守点検などを実施し、安定的な維持管理に取り組んだ。
- 令和2年度事業費 10,063 百万円

1. 令和2年度における主な取組の内容

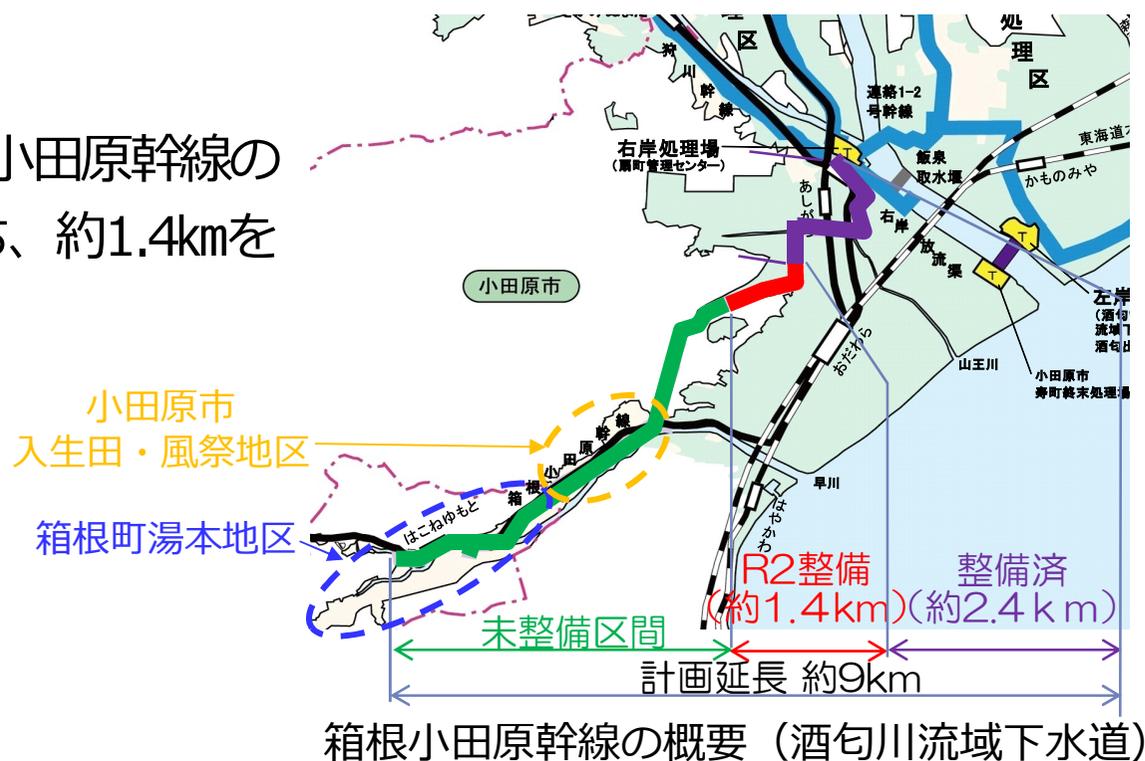
○幹線管きよの整備

事業内容

箱根の玄関口である湯本地区や、小田原市入生田地区、風祭地区における下水道普及のため、箱根小田原幹線を整備する。

取組状況

令和2年度は、箱根小田原幹線の計画延長約9kmのうち、約1.4kmを整備した。



1. 令和2年度における主な取組の内容

○地震対策の推進

事業内容

大規模地震時においても下水処理を継続するため、処理場に下水を取り込み、処理、消毒、放流に係る施設の耐震化を図る。

取組状況

下水処理に必要な機械設備に電力を供給する配線や、処理過程で発生した汚泥を集める配管などが通る地下通路を補強する耐震工事などを行った。



地下通路を補強する耐震工事
(相模川流域下水道右岸処理場)

1. 令和2年度における主な取組の内容

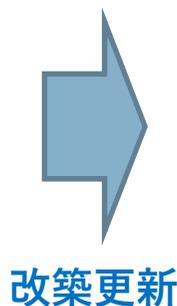
○計画的な改築更新

事業内容

今後老朽化する機械電気設備の増大が見込まれるため、経過年数や健全度による老朽化の度合いを評価するとともに、設備の故障などが発生した場合に利用者や自然環境等に与える影響を考慮し、厳選して改築更新に取り組む。

取組状況

下水の汚れを分解する微生物に必要な空気を送る送風機の改築更新工事などを行った。



送風機の改築更新（酒匂川流域下水道左岸処理場）

1. 令和2年度における主な取組の内容

○安定的な維持管理

事業内容

県民生活や企業活動に支障がないよう、止まることなく流入する下水を適切に処理し、良好な放流水質を保つため、処理場の運転操作、水質分析や定期的な点検・修繕などを行う。

取組状況

下水を処理する機械電気設備等の運転操作や、法令に基づく水質分析などを行い、年間約2億8千万立方メートルの下水を処理した。



運転状況を監視している様子

1. 令和2年度における主な取組の内容

維持管理の状況 | 写真



設備の点検を実施している様子



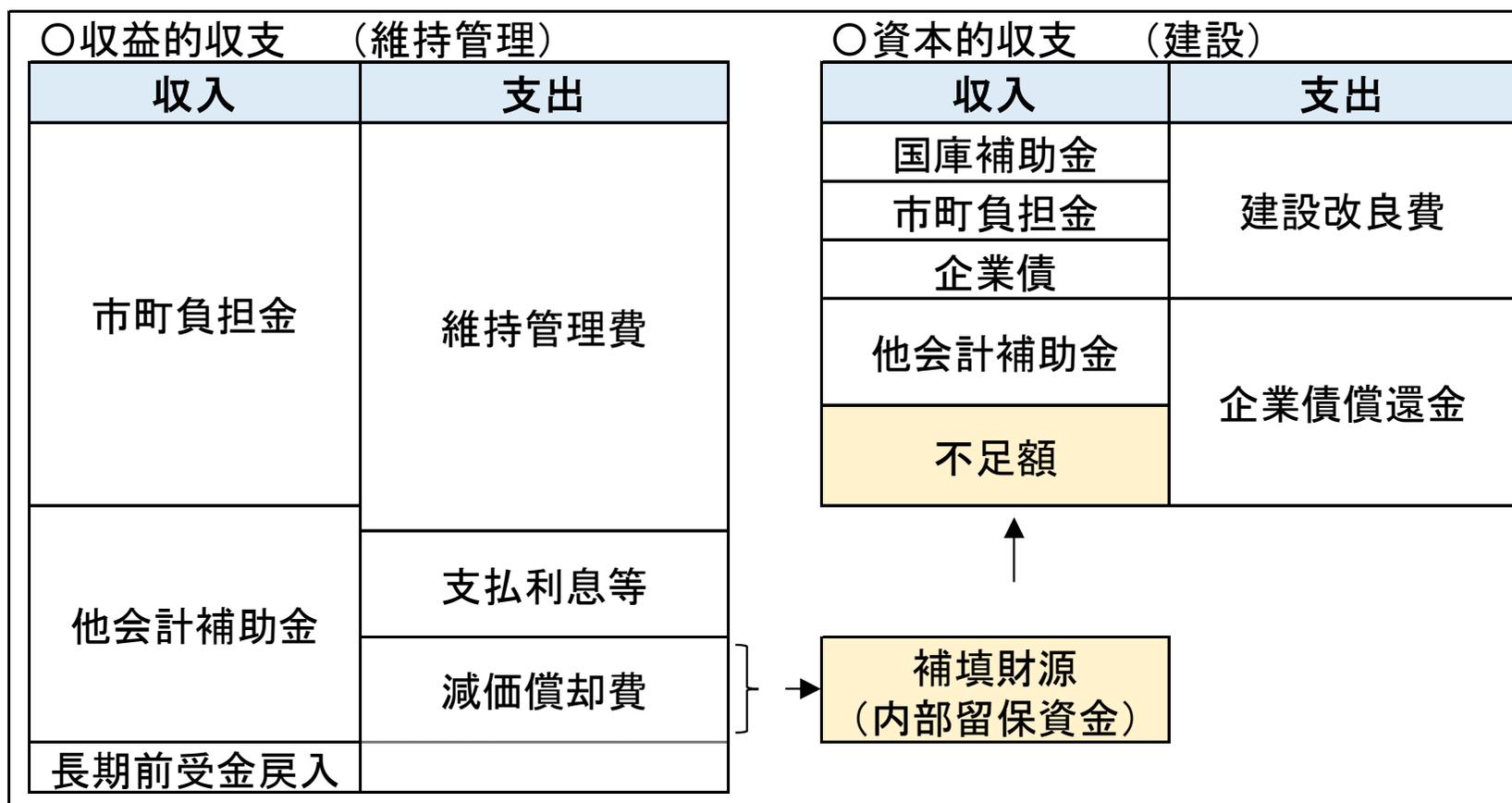
老朽化した管渠を修繕している様子



水質分析のため採水をしている様子

(参考) 流域下水道事業会計の仕組み

- 収益的収支は、維持管理事業に係る収支（維持管理費、減価償却費）、資本的収支は、建設事業（建設改良費、起債償還費）に係る収支
- 資本的収支では、支出が収入を上回るが、不足資金は、補填財源（収益的収支で生じる内部留保資金）で賄われる。



2. 決算の概要

<収益的収支>

(単位：百万円)

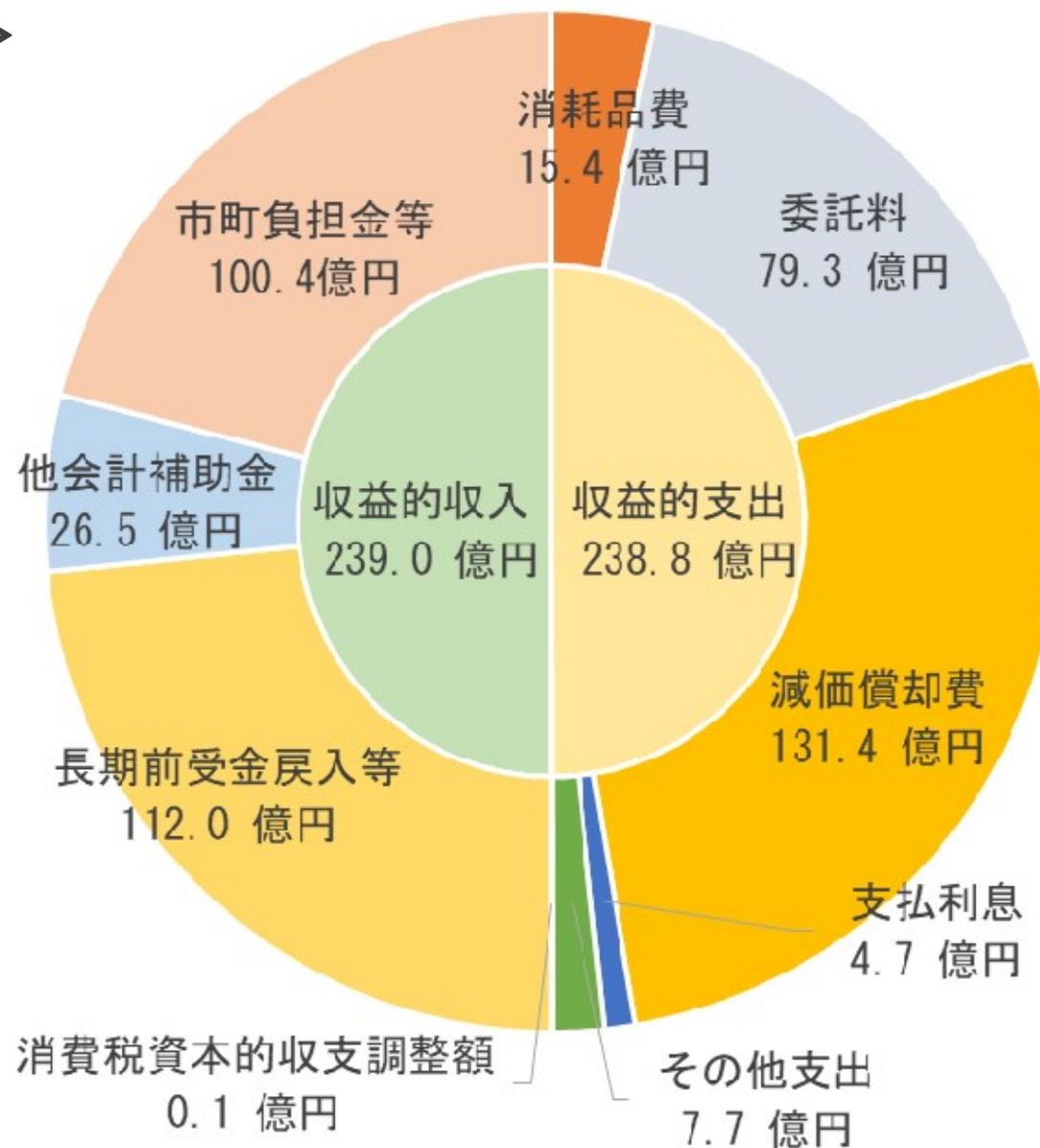
科目等	令和2年度 決算額(A)	令和元年度 決算額(B)	増減 A-B
収益的収入 a	23,903	-	皆増
営業収益	10,044	-	皆増
市町負担金等	10,044	-	皆増
営業外収益	13,858	-	皆増
他会計補助金	2,657	-	皆増
長期前受金戻入等	11,201	-	皆増
収益的支出 b	23,884	-	皆増
営業費用	23,208	-	皆増
消耗品費	1,549	-	皆増
委託料	7,939	-	皆増
減価償却費	13,144	-	皆増
その他支出	575	-	皆増
営業外費用	675	-	皆増
支払利息	479	-	皆増
その他支出	196	-	皆増
消費税資本的収支調整額 c	19	-	皆増
当年度純利益又は純損失 (a-b-c) d	0	-	皆増

※維持管理事業の令和2年度事業費は、営業費用の消耗品費、委託料、その他支出の合計額10,063百万円

(注) 表及びグラフ等の数字は、端数切捨のため、合計額には一致しない箇所がある(次頁以降同様)

2. 決算の概要

<収益的収支>



2. 決算の概要

<資本的収支>

(単位：百万円)

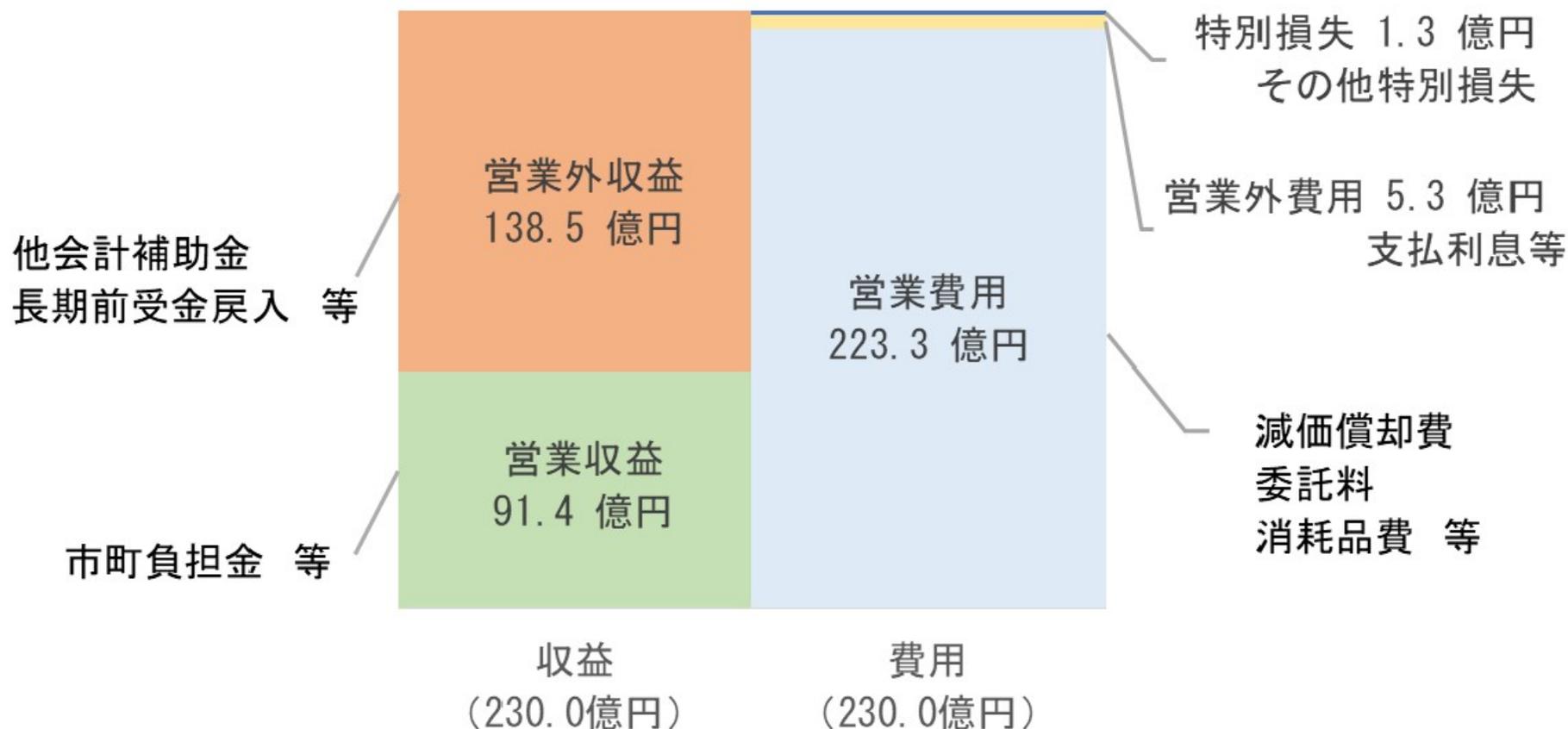
科目等	令和2年度 決算額 (A)	令和 元年度 決算額 (B)	増減A-B
資本的収入 a	6,066	-	皆増
企業債	930	-	皆増
他会計補助金	771	-	皆増
国庫補助金	2,728	-	皆増
市町負担金等	1,637	-	皆増
資本的支出 b	6,413	-	皆増
建設改良費	4,064	-	皆増
企業債償還金	2,349	-	皆増
補填財源 (a-b)	△ 2,111	-	皆増



※円グラフで示している資本的収入の額は、令和2年度の資本的支出に対する財源（令和2年度決算額から翌年度繰越額に係る財源充当額を差し引いたもの）

3. グラフで見る決算書

(1) 損益計算書グラフ



○本県の流域下水道事業では、市町負担金等を、県及び市町の協議等により、費用に応じた収益としているため、損益は生じない

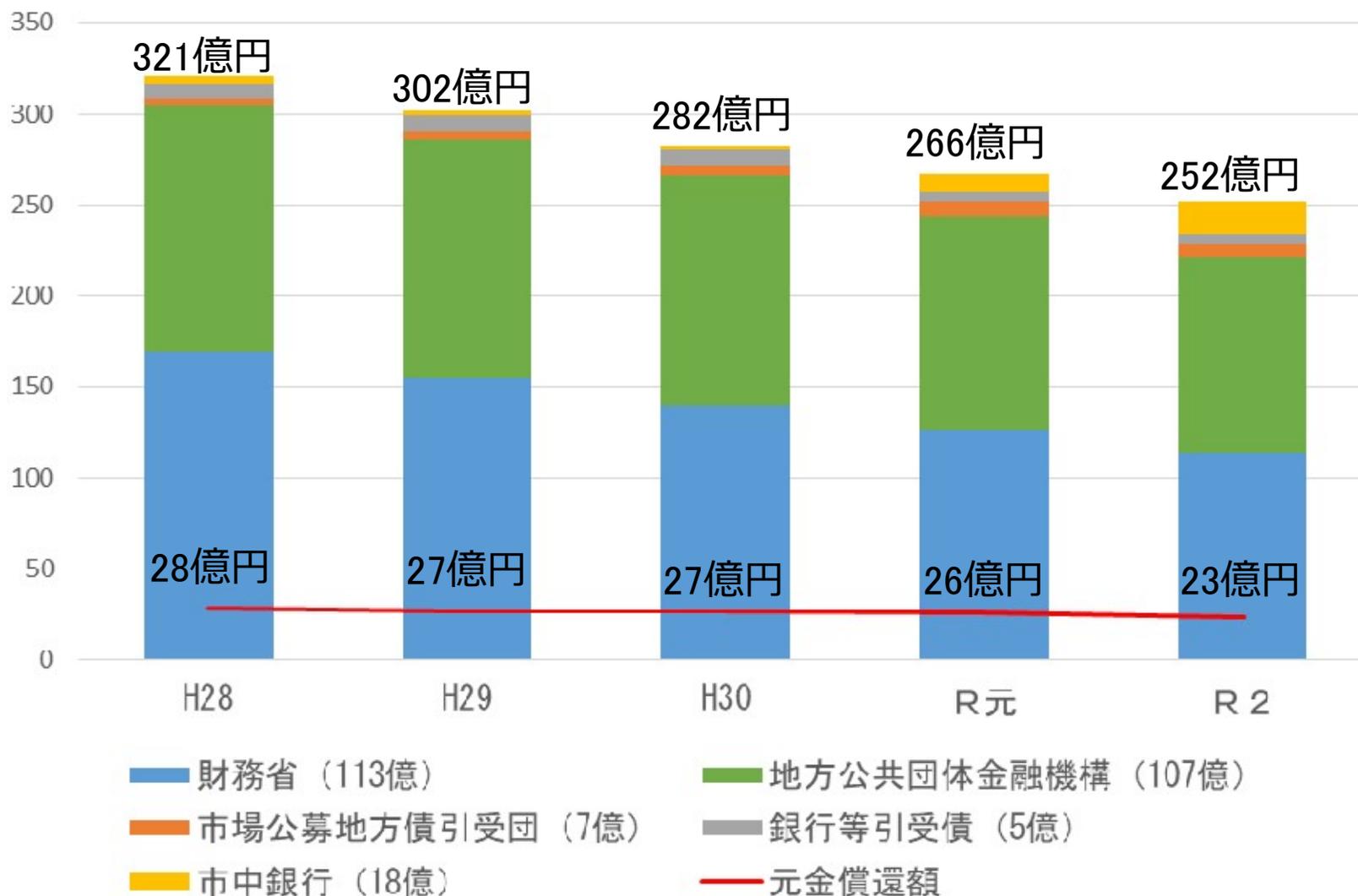
3. グラフで見る決算書

(2) 貸借対照表グラフ



3. グラフで見る決算書

(3) 企業債残高の推移



3. グラフで見る決算書

(4) キャッシュフローグラフ

